

## 『愛知製鋼レポート2018』を発行

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、代表取締役社長：藤岡高広）は、当社グループの2017年度の事業活動や、ESG（環境・社会・ガバナンス）への取り組み内容と成果をまとめた『愛知製鋼レポート2018』を発行しました。

今回のレポートは、昨年11月に制定した2020年度中期経営計画に基づき、将来ありたい姿実現のための成長戦略および当社が社会にどのような価値をどのように提供していくのかについて、わかりやすくお伝えすることに主眼を置きました。

また、トップコミットメントの中で、社会からの関心の高い100年に一度と言われる自動車業界のパラダイムシフトの進展やスマート社会の到来に対する対応についても述べています。

『愛知製鋼レポート2018』の主なポイントは下記のとおりです。

1. 2020年度中期経営計画に基づく将来ビジョンの明確化
2. 「素材で新たなスマート社会を共創」するために、新たな価値観・行動規範である「Aichi Way」に基づき、事業活動を通して社会課題を解決していく姿を「価値創造モデル」として紹介
3. New AICHI STEEL への変革を牽引し、次世代への飛躍を果たすための取り組みを「特集」として具体的に紹介
  - ①カンパニー制導入    ②愛知製鋼の働き方改革    ③次世代に向けた取り組み
4. 社会課題解決のための取り組み
  - (1) 環境への取り組み（E：Environment）  
「アイチ環境取り組みプラン2020」の活動状況、低炭素社会に向けた取り組み など
  - (2) 社会との関わり（S：Social）  
「愛知製鋼と社会との関わり」、社会貢献、地域との交流 など
  - (3) コーポレートガバナンス（G：Governance）  
経営の効率性、公平性、透明性の維持向上に向けた取り組み など

今後も、本レポートなどを通じてステークホルダーの皆様との積極的なコミュニケーションを推進し、当社に対するご理解を深めていただくとともに、CSV※の視点で社会へ貢献してまいります。

※CSV：Creating Shared Valueの略。社会的な課題の解決と企業の競争力向上を同時に実現すること。



表紙



価値創造モデル

◆本レポートは、愛知製鋼ホームページよりご覧いただけます。

<https://www.aichi-steel.co.jp/csr/index.html>

以上